



七戸町ガイドマップ





七戸町

パワースポット巡り!



「願いかなう絵馬の町」(七戸町絵馬)

七戸町の見町(みるまち)観音堂と小田子不動堂には、300点に及ぶ江戸時代の小絵馬が奉納され、国の重要有形民俗文化財となっています。

馬はもともと神の乗り物であり、神霊は乗馬姿で人界に降臨すると考えられてたことから、古くは生きた馬を社寺に奉納する習慣がありました。絵馬はこれに代わるものと考えられています。

絵馬には、畳2枚もある大きなものや名刺大の小絵馬、馬型をした板絵馬など様々なものがありますが、南部小絵馬は旧南部藩内に限って分布する独特なもので、上方や江戸の文化の影響を受けた絵心のある者によって描かれたものといわれています。



絵馬の奉納手順



1 七戸町の絵馬販売店で絵馬を購入。
販売店の人とおしゃべりをしながら願い事を書こう!



2 絵馬に願い事を書いたら、その御利益に合った神社へ出発!

※奉納ができない場合は、奉納してほしい神社へ代行して奉納させていただきます。



3 神社に着いたら

- ①鳥居をくぐる前に服装の乱れを整えます。
- ②鳥居をくぐる時に軽く会釈をする。
- ③手水舎で身を清めます。
 - (1)柄杓を左手にかけて清めます。
 - (2)柄杓を清めた左手に持ち替え今度は、右手に水をかけて清めます。
 - (3)柄杓を再び、右手に持ち替え左手の手のひらで水を受けて口をすすぎます。

※柄杓に直接口をつけて行なってはいけません。



4 御神前での参拝

- ①神前へ進み、姿勢を正します。
- ②お賽銭を賽銭箱に入れて、鈴を鳴らします。
- ③もう一度、姿勢を正して、二拝二拍手。
- ④両手を合わせて、心静かに祈願をします。
- ⑤軽く会釈をして、境内を出ます。



5 絵馬奉納

- ①願い事を書いた絵馬を絵馬掛所に祈りを込めて結び付け、奉納して下さい。



これで完成!

あなたの願いが叶いますように



身体健全



ご縁日
4月8日

眼病平癒

山屋薬師堂

藩政時代までは、薬王院と称する修行の場でした。明治の神仏分離以来、薬師堂として瑞龍寺の管轄に属しています。本尊の薬師像は、本造三尺の立像で桂の木の一木造りのなた彫りで、平安末期(800年位前)の地方作の優れたものです。

場所:七戸町字山屋



火坊の神



ご縁日
6月16日

諸願成就

小田子不動堂

鳥居をくぐり坂道を上りつめると境内の右手小祠の中に祀られている願掛け石(珉化木)があります。祈願者はお不動様に願をかけ、この石にもお神酒を供えて拝んだあと持ち上げ諸願の叶う時は軽く持ち上がり、叶わない時は持ち上げられないと云われています。

場所:七戸町字和田下1-1



出世・開運



ご縁日
6月15日

縁結び

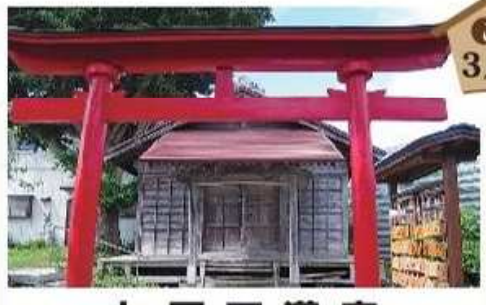
獄八幡宮

獄八幡宮は、七戸町の西端にそびえる八幡岳(1022m)の山頂に八幡神を祭った祠です。七戸町高屋敷にその宮里があります。八幡様は源氏の氏神として、武家の間で信仰を集めてきました。武徳や勉学の神として信仰されています。

場所:七戸町字高屋敷22-1



学業成就



ご縁日
3月25日

合格祈願

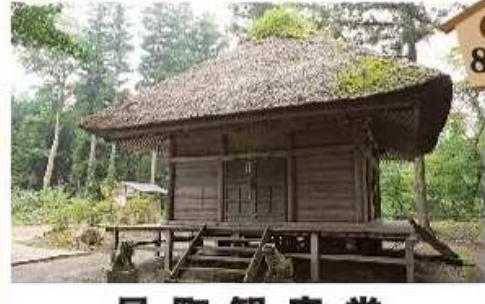
七戸天満宮

七戸天満宮は学問の神様として知られる菅原道真の神像を祭り、学業成就を祈願する神社として地元住民らに古くから親しまれています。地元町内会の川友会では、毎年1月の第2日曜日に受験合格祈願祭が行われています。

場所:七戸町川向天神林



心願成就



ご縁日
8月10日

武運長久

見町観音堂

見町観音堂の山号は金鶏山(ぎんけいざん)の長福寺といい、七戸地方観音信仰の中心として長く崇拝されていました。南部政光(なんぶまさみつ)が、1396年長慶天皇の菩提を弔うため、創建されたといわれています。室内には、絵馬や羽子板のほか読経札、棟札、順札など359点が残されていました。それらは平成2年に国指定重要有形民俗文化財となっています。

場所:七戸町字見町37-2



開運繁栄



ご縁日
8月16日

除災招福

七戸神明宮

神明宮は応永三年(1396年)南部八代藩主政光の勧請により創建。明治十四年(1881年)に現在の地「七戸城」跡に遷座。藩政時代には、南部氏の祈願所として尊信厚く今日なお「しんめいさま」と町民から親しまれ、七戸地方の総氏神様として広く信仰を集めています。例祭には南部藩主ゆかりの「親孝行踊」が毎年奉納傳承されています。

場所:七戸町字町2



ご縁日
10月10日

病氣平癒



天王神社

天王神社は応永初年(1394年)当地へ勧請されました。宝暦元年(1751年)に伝えられた天王神楽は、優雅な舞と美しい調で貴重な郷土芸能です。また上泉華陽面白により造成されたつつじ園は今では500本のつつじが咲き誇りたくさんの方が訪れます。

水神様



場所: 七戸町字七戸50

ご縁日
4月19日

家内安全



花松神社

広く上地方の馬産家の信仰を集める神社です。主神は保食命という衣食住・暮らしの神様ですが、軍馬飼育が盛んな南部の土地柄から、同時に馬頭観世音も祀られたため「馬の神様」として知られるようになりました。

五穀豊穡



場所: 七戸町字花松林ノ根17

獄八幡宮

獄八幡宮の本殿は八幡岳の山頂に鎮座し、八幡岳の名前の由来となったエピソードと深く関係しています。

もともと八幡岳は雄嶽と呼ばれていましたが、1338年に東南から一条の光が輝き続けたので孫左衛門という人物が見届けに行くと、頂上の白樺の木に鎧矢があったので持ち帰りました。すると息子の孫四郎に「我は八幡大神である。」と託宣があったので山頂に祀って以降、八幡岳と呼ばれ、広く地域の信仰を集めるようになりました。

その後、ご神体や宝物が掠奪されるので現在の七戸町高屋敷に拝殿を造営し、今に至ります。

祭神は峯田別尊で、現在は病難や災難を避けるため、縁結び、出世開運、五穀豊穡等を目的として登拝されています。



場所: 七戸町字八幡岳2番地

天間館神社

天間館神社の主神は「高麗神」です。竜神であり、水の神です。

その昔、天間館は奥州街道の七戸・野辺地間の中間に位置し、休憩場として利用されていました。当時、宿場間の荷運びをしていた伝馬(貨物を運搬する馬)が多く休憩していたことから天間という名がついたともいわれています。

水神のなかでも「高麗神」は、高いところにある水を印象付け、雨や山、雷の象徴として、農業を生業とする多くの人々から信仰されてきました。加えて水神は生命の象徴とされており、病氣平癒、長命長寿のご利益があるといわれています。

また、境内にはコウモリ小舎があり、日本最大のヒナコウモリの繁殖地となっております。もともと天間館神社に住んでいたコウモリを昭和52年から徐々に小舎へ引越しさせました。



場所: 七戸町小田平41

千曳神社

千曳神社は坂上田村麻呂の建立と伝えられ、「日本中央」と刻まれた石の発見や、明治天皇が御旅行の際に訪れたこともあるなど逸話の多い神社です。

そもそも千曳という名前は、千人で引っ張っても動かない石の精を村娘のつぼ子が一人で運んだという伝説から由来しているといわれています。しかもその時の石は境内のどこかに埋まっているとも伝えられています。

祭神は八衢比古神と八衢比売神の夫婦神で、八衢(ヤチマタ)は八方に道の広がる様を指します。また、八衢比古神は外から進入する悪いものを防いでくれる神様であり、家内安全や旅の安全祈願など災いから守ってくれるご利益があるといわれています。



場所: 七戸町字菩提木56

絵馬販売店
絵馬にお願い事を書いてお参りに行こう!

<p>鷹山字一記念美術館 [住所]七戸町字荒瀬内67-94 [電話]0176-62-5858</p>	<p>ファッションプラザ田忠 [住所]七戸町字七戸286-2 [電話]0176-62-2748</p>
<p>あすなろ温泉 [住所]七戸町字米田川久保54-1 [電話]0176-62-6472</p>	<p>インテリアユニオン石源 [住所]七戸町字七戸297-3 [電話]0176-62-6511</p>
<p>田重菓子舗 [住所]七戸町字七戸210-4 [電話]0176-62-2537</p>	<p>ふたばカメラ [住所]七戸町字七戸316 [電話]0176-62-2285</p>
<p>銘書堂書店 [住所]七戸町七戸198-2 [電話]0176-62-6251</p>	<p>レストランジュノン [住所]七戸町字影津内111-6 [電話]0176-62-4051</p>
<p>杉屋敷 奥山 [住所]七戸町字影津内111 [電話]0176-62-6077</p>	<p>ビューティースペースみどりや [住所]七戸町字七戸316-2 [電話]0176-62-2630</p>
<p>川作酒店 [住所]七戸町字七戸280 [電話]0176-62-2012</p>	<p>御菓子のみやきん [住所]七戸町字七戸329-1 [電話]0176-62-5100</p>



駒饅頭

七戸町の文化、歴史と共に歩んできた伝統的なお菓子です。町民が愛する時代を超えたふるさとの味です。

■問合せ先/七戸物産協会(道の駅しちのへ) ☎0176-62-5777



七戸バーガー

県産牛・豚肉のパテ、町内のベーカリーで作られたパンズ、地域の豊富な農産物(トマト、ナガイモ、ニンニク、カシス、ソウ)を生かしてそれぞれのお店がトッピングした種類豊富で食べ比べが出来るとなると、七戸バーガーです。

■問合せ先/七戸バーガー協議会 携帯090-6626-4498



清酒 駒泉

酒米として有名な山田錦や県産酒造好適米を原料に、八甲田山系の高瀬川伏流井水を使い、蔵元自らが真心込めて腕をふるい、青森の冷涼な環境でじっくりと醸した純酒です。

■問合せ先/七戸物産協会(道の駅しちのへ) ☎0176-62-5777



桜弁当

馬肉とゴボウを味噌と砂糖で甘辛く仕立てた馬肉ご飯をメインに、ながいもの煮物や赤かぶの酢漬けなどこだわりの青森県食材をふんだんに使っています。

■問合せ先/七戸物産協会(道の駅しちのへ) ☎0176-62-5777



黒にんにく

本州最北端、青森の雪の下でたくましく育ち、生命力あふれるにんにくを、温度と湿度調整だけで長時間熟成醗酵させました。臭いにおいが少なく、フルーツ感覚で美味しくお召し上がりいただけます。

■問合せ先/七戸物産協会(道の駅しちのへ) ☎0176-62-5777

■営業時間10:00~17:00
年中無休(臨時休業あり)



ジェラート

濃厚なミルクで知られるジャージー牛を飼育し、搾りたてのミルクと地元や自家栽培の無農薬野菜を使い新鮮な原料にこだわって作ったジェラートは、甘すぎずフルーツや季節野菜の香りを楽しむことができます。

■問合せ先/NAMIKI(ハッピーファーム内) ☎0176-62-2646

■HP/www.namiki-gelato.com



にんにくオイル

にんにく風味豊かな手作りオイルです。産地ならではの香りをお届けします。

■問合せ先/七戸物産協会(道の駅しちのへ) ☎0176-62-5777



けいらん

あんこの入った卵型の団子にだし汁をかけて食する郷土料理です。結婚式や来客向け、また法事の際の精進料理としても作られ、その団子の形状が鶏の卵に似ていることから「けいらん」と呼ばれたといわれています。

■問合せ先/七戸町文化村 物産館内レストラン「絵馬」

☎0176-62-5777

秋



銀南木

法身国師が手植えしたと伝えられ、樹齢750余年、樹高26メートル、幹回り12メートルを超える銀杏の巨木です。昭和31年に青森県天然記念物に指定。

●七戸十和田駅から車で10分

しちのへ秋まつり

各町内で昔話や伝説などから題材を選んで山車を自主制作。華麗な山車が市街地を練り歩き、「けんか太鼓」の競演は観客を魅了します。夜間山車運行、仮装大会など期間中は十分楽しむことができます。



ホワイトバトル

寒い雪上の中で繰り上げられる雪合戦。約80チーム・1,000人以上が参加し白熱した試合で盛り上がります。また、郷土料理の提供や雪あそび体験なども行われます。

七戸町営スキー場

東八甲田家族旅行村と隣接する小高い山の斜面に造られ、西後方に八幡岳、八甲田山を望み、雪の少ない県南地方では貴重なスキー場として知られ、初級者から上級者まで幅広く利用されています。

■問合せ先/七戸町営スキー場

☎0176-62-5612

●七戸十和田駅から車で10分



毎年1月下旬から2月上旬の間に開催されるイベント。馬そり体験やかまくら作り体験、またそのかまくらの中で郷土料理を食するなど、冬の北国ならではのプログラムを用意しています。

■問合せ先/七戸町農林課 ☎0176-68-2116(直通)

■ホームページ <http://www.kadaretenma.com/>

かだれ! 雪国体験



冬

春



天王のつつじ

天王神社の境内は春になると樹齢300年以上といわれる大木を含め約500本の山つつじが咲き乱れます。つつじのトンネル散歩や、向かい側の柏葉公園(七戸城跡)の展望台からの眺望など、色々な角度から観賞を楽しむことができます。また夜間はライトアップが施され、幻想的な空間を作り出します。期間中は106段の石段の両脇に絵馬灯籠やつつじを詠んだ短歌が飾られ、境内から流れる琴や笛などの風流な音とともに、咲き誇るつつじを引き立てます。

■問合せ先/七戸町商工観光課 ☎0176-62-2137

●七戸十和田駅から車で5分

つつじロード

町の花であるつつじを道の駅しちのへの前から奥羽牧場内の真つすぐな並木通りに総延長約5km植栽し、春の散歩コースにしています。



馬力大会

古くからの馬産地である七戸町では、かつて盛んに馬力大会が行われていました。30年ぶりの復活となった平成11年以來毎年春・秋の2回開催しています。大型馬のかん高いいななさと、馬主の威勢のあるかけ声がこだまするレースは迫力満点です。

※秋は9月に開催しています。

しちのへ夏まつり

七戸町中央公園屋外ステージにおいて、各地域の郷土芸能や子どもに大人気のキャラクターショー、有名ゲストによる歌謡ショーなど、盛り沢山のイベントが開催されます。また、会場内には誰でも参加することのできるチャレンジコーナーもあり、子どもから大人まで楽しめます。



6月下旬から7月上旬にかけて、バラが一番きれいな時期に開催されます。カラフルな色が咲き乱れるその空間は、普段の生活を忘れ「別空間」。あなたを安らぎと癒しの空間に誘います。

■問合せ先/(社)東八甲田ローズカントリー ☎0176-62-5400

●七戸十和田駅から車で10分

バラまつり



夏



東北新幹線 七戸十和田駅

七戸十和田駅は3つのボックスで構成されています。中央のボックスは八甲田連峰の雄大さを、新青森駅方向にある西側の明るい空間は未来を表現、八戸駅方向は奥州街道や牧場の松並木を表現しています。



観光交流センター

新幹線駅舎の南側に直結している施設で、観光情報等を提供するコーナーや休憩コーナー、特産展等各イベントが開催できるホールなどを備えています。

無料駐車場 完備



レールバス

平成14年に廃止となったローカル鉄道(南部縦貫鉄道)。車両はいくくレールバスの愛称で親しまれていました。廃線後、鉄道ファンの強い熱意で動態保存され、毎年春のゴールデンウィーク時には体験乗車できるイベントが開催されています。



山車展示館

しちのへ秋まつりの山車は「絵馬型風流山車」と呼ばれ、後部に絵馬が配置されているのが特徴です。館内では、勇壮な山車のほか秋まつりの解説、お囃子や太鼓の音色も聞くことができ、秋まつりの雰囲気を楽しむことができます。



旧七戸郵便局 * 国指定登録有形文化財

昭和3年に建設されたこの建物は、長い間郵便局として町民に親しまれてきました。近代建築の保護を目的とした、登録有形文化財に指定され、昭和初期のたづまいを残しています。

●七戸十和田駅から車で5分
(七戸町役場七戸庁舎前)



七戸城跡 * 国指定史跡

根城南部第八代城主の南部正光の築城と伝えられています。昭和16年(1941年)国の史跡指定を受け、その一部は城跡公園として親しまれています。

●七戸十和田駅から車で5分

八甲田を望む大地の息吹と歴史を感じさせる駅



東八甲田ローズカントリー

バラの産地化をめざし、生産から加工・販売までの一貫経営による新しい農業を創出、七戸町の農業の切り札的存在として期待され市価より安く販売しているほか、花束やドライフラワーなども取り扱っています。また、バラの摘み取りやフラワーアレンジメントも体験することができ、見頃となる夏には「しちのへバラまつり」が開催される大勢の観光客で賑わいます。

■問合せ先/(社)東八甲田ローズカントリー ☎0176-62-5400
●七戸十和田駅から車で10分

東八甲田家族旅行村

大自然の中で、家族や仲間思いっきり楽しむための施設で、ケビンハウスをはじめ、キャンプ場・バーベキューハウス・パターゴルフなどアウトドアを満喫できます。

■開村期間:4月下旬~10月31日
■定休日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)但し、7月4日曜日から8月15日の期間は無休
■東八甲田家族旅行村 ☎0176-62-5671
●七戸十和田駅から車で10分



七戸町立鷹山宇一記念美術館

駅から徒歩7分の駅前美術館、鷹山宇一記念美術館は「現代日本の稀有な幻想画家」といわれた、七戸町出身鷹山宇一の画業を顕彰し、その真髄にふれたいいただくために、平成6年(1994)8月1日開館しました。画伯の生涯を貫く深き緑の探求のうちに、幻想の蝶あり、花あり…。そのモチーフや透明感あふれる鷹山の世界をご鑑賞ください。

■問合せ先/鷹山宇一記念美術館 ☎0176-62-5858



道の駅しちのへ

物産コーナーでは七戸町自慢の銘菓や地酒、南部製織などの民芸品の他、周辺市町村の特産品が展示販売されています。さらにレストラン「絵馬」では地元の素材を活かした「馬肉ラーメン」や郷土料理の「けいらん」などがいただけます。平成23年8月より足湯とジェラート店が新設され、いっそう楽しめるスポットとして賑わいをみせています。

■問合せ先/道の駅しちのへ ☎0176-62-5777



しちのへ産直七彩館

七戸十和田駅に隣接している道の駅しちのへの産直施設が、「しちのへ産直七彩館」としてグレードアップしました。「より新鮮に、より豊富に、より安く」田園都市として農産物の産地、七戸町の顔を目指しています。栄養満点の産直野菜やお土産に人気の漬物など加工品の販売はもちろん、そば餅や手打ちそばをいただけるスペースもご用意しています。

■問合せ先/(株)七戸物産協会 ☎0176-62-5777